

**中小企業向けダイバーシティ経営推進事業
企画運営等業務
受託候補者募集要領**

**令和 7 年 7 月
仙台市経済局産業政策部
中小企業支援課**

中小企業向けダイバーシティ経営推進事業企画運営等業務 受託候補者募集要領

1 本書の目的

中小企業向けダイバーシティ経営推進事業企画運営等業務の受託候補者の募集に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

2 業務内容

別紙「中小企業向けダイバーシティ経営推進事業企画運営等業務委託仕様書」のとおり。

なお、仕様書の内容は現時点での予定であり、受託候補者との協議の中で変更する場合がある。

3 委託上限額（予算規模）

上限 4,667,000 円（一般管理費、消費税及び地方消費税を含む）

※委託費は、提案事業の遂行に必要な経費とし、委託内容からその妥当性が認められる範囲とする。

4 応募資格

本業務に応募することができる者は、次に掲げる要件を全て満たす法人又は法人を核にした複数の者による共同企業体とする。

- (1) 委託業務の内容を的確に遂行するに足る能力を有する者であること
- (2) 仙台市と密接な連携がとれる体制を確保できること
- (3) 本業務に関する委託契約を仙台市との間で直接締結できる者であること
- (4) 仙台市の指示に速やかに従うことができること
- (5) 本業務に関連する業務について実績を有すること
- (6) 仙台市に設置される審査委員会でのプレゼンテーション審査に参加することが可能であること
- (7) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当する者でないこと
- (8) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする団体及び暴力団もしくは暴力団員の統制の下にある団体ではないこと
- (9) 仙台市税（または、現在の主たる事業所所在市町村の市町村税）、法人税、消費税及び地方消費税を滞納していないこと
- (10) 受付期限内に、仙台市の「有資格業者に対する指名停止に関する要綱」第 2 条第 1 項の規定による指名停止を受けていないこと
- (11) 会社更生法に基づく更生手続き開始の申立て中または更生手続き中、または、民事再生法に基づく再生手続き開始の申立て中または再生手続き中でないこと
- (12) 現金出納簿等の会計関係書類及び賃金台帳等の労働関係書類を整備していること
- (13) 公序良俗に反する活動を行う等、委託先として不適切な者でないこと
- (14) 提出された書類等は、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 11 年 5 月 14 日法律第 42 号）に基づき、不開示情報（個人情報、法人の正当な利益を害する情報等）を除いて、情報開示の対象となることに同意すること

5 契約条件

(1) 契約形態

公募型の提案審査随意契約（プロポーザル方式）

(2) 契約期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

(3) 委託費の支払条件

完了払い

※業務完了後、仙台市の検査を経て、受託者の請求に基づき支払いを行う。

(4) その他

- ・ 契約については、事前に委託内容、委託料について協議のうえ、随意契約を締結する。
- ・ 契約の締結にあたっては、企画提案書の内容を特記仕様書として契約時に採用することを基本とするが、選定された企画提案の内容をそのまま実施することをあらかじめ約束するものではなく、業務委託の内容の詳細について委託候補者と別途協議のうえ、企画提案の内容を一部変更して契約することがある。
- ・ 協議が整った後に、受託候補者はあらためて詳細な経費を積算した見積書を提出するものとする。
- ・ 申請内容に虚偽記載等の不正が明らかになった場合は、採択の取り消し、又は契約解除等を行う場合がある。
- ・ 本委託業務の一部を第三者に再委託する場合は、仙台市の承認を必要とし、本委託業務の全部を第三者に再委託することは認めない。
- ・ 特別な理由により受託候補者と契約できない場合は、他の提案者のうち順位が上位の者から順に契約交渉を行うものとし、最終的に交渉が成立した提案者を受託者とする。
- ・ 本業務の関係書類や会計帳簿等は、業務実施終了後5年間は保存することとし、業務完了後に委託者の閲覧が必要になった場合は協力すること。
- ・ 契約条件が合致しない場合には、委託契約の締結ができないことがある。

6 公募期間等のスケジュール

(1) 公募開始	令和7年7月16日（水）
(2) 質問票の受付期限	令和7年7月24日（木）17時
(3) 参加表明書兼誓約書の受付期限	令和7年7月30日（水）17時
(4) 企画提案書の受付期限	令和7年8月4日（月）17時
(5) プレゼンテーション審査会	令和7年8月8日（金）予定
(6) 審査結果通知	令和7年8月中旬
(7) 委託契約の締結、業務開始	令和7年8月中旬

7 質問の受付及び回答

本業務等について質問がある場合は、下記により質問票を提出すること。

(1) 受付期限

令和 7 年 7 月 24 日（木）17 時

(2) 受付方法

仙台市ホームページより「質問票（別紙 1）」をダウンロードし、質問事項を記入の上、本要領 12 に記載の担当課あてに電子メールで提出する。なお、電子メールのタイトルには「中小企業向けダイバーシティ経営推進事業企画運営等業務」と記載すること。受付期限内であれば質問回数に上限は設けない。

(3) 回答

随時質問者に個別に回答するほか、全質問とその回答を仙台市ホームページに掲載する。

8 参加表明書兼誓約書の提出

本業務の企画提案応募を希望する場合は、下記により参加表明書兼誓約書を提出すること。

(1) 提出期限

令和 7 年 7 月 30 日（水）17 時必着

(2) 提出先

本要領 12 に記載の担当課

(3) 提出方法

仙台市ホームページより「中小企業向けダイバーシティ経営推進事業企画運営等業務企画提案参加表明書兼誓約書（様式第 1 号）」をダウンロードし、必要事項を記入の上、本要領 12 に記載の担当課あてに電子メールで提出すること。なお、電子メールのタイトルには「中小企業向けダイバーシティ経営推進事業企画運営等業務企画提案参加表明書兼誓約書」と記載すること。

9 企画提案書等の提出

本業務の受託を希望する者は、下記により応募申込書等を提出すること。

(1) 提出期限

令和 7 年 8 月 4 日（月）17 時必着

(2) 提出先

本要領 12 に記載の担当課

(3) 提出方法

電子メールにて提出すること。

(4) 提出書類

以下のとおり

- ① 応募申込書（様式第 2 号）
- ② 企画提案書（A4 版横の任意様式、下記留意点参照）
- ③ 経費見積書（任意様式、積算内訳を添付）
- ④ 企画提案者の概要が分かる資料（会社案内等）
- ⑤ 定款または寄付行為（法人格を有しない場合は運営規約等）の写し
- ⑥ 履歴事項全部証明書（商業・法人登記簿謄本）の写し等

- ⑦ 直近の決算書またはこれに類する書類
- ⑧ 仙台市税の滞納がないことの証明書（または、現在の主たる事業所所在市町村の市町村税の納税証明書）
- ⑨ 納税証明書（法人税及び消費税・地方消費税について未納税額のないことの証明書）
- ⑩ （共同企業体の場合）企業連合協定書（様式第3号）

（5）留意点

- ① 企画提案書はA4版横に横書き、15分程度で説明できる量とし、ページ番号を付すること。必要に応じて絵・図・フロー図などを用いて分かりやすく記載すること。Word形式、PowerPoint形式、PDF形式のいずれかで提出すること。プレゼンテーション審査では企画提案書を用いて行うため、別途プレゼン資料を用意することは認めない。
- ② 企画提案書には下記事項を必ず記載すること。
 - ・ 業務全体のスケジュール
 - ・ 実施体制（組織図の添付など、本委託業務に携わる職員等の役割分担表を作成し固有名詞も含め具体的に記載）
 - ・ 本業務に類似・関連する業務に係る過去の実績
 - ・ ダイバーシティ経営に係る意識醸成・普及啓発に関する提案
 - ・ ダイバーシティ経営の実践に向けた取組に関する提案
 - ・ 仙台「四方よし」企業制度の推進に向けた取組に関する提案
 - ・ 効果検証に関する提案
 - ・ その他業務の実施に関して必要な事項

（6）その他

- ① 企画提案に係る費用は、提案者の負担とする。
- ② 提出書類等は返却しないこととする。
- ③ 提出期限後の提案書の提出、期限後の提案書の差し替え・再提出は認めないこととする。

10 受託候補者の選定等

以下により、受託候補者を選定する。

（1）選定方法

審査は「中小企業向けダイバーシティ経営推進事業企画運営等業務候補者選定に係る審査委員会」において企画提案書に基づく応募者からのプレゼンテーションを踏まえて行う。

※一次審査として書類審査を実施し、プレゼンテーションを行う事業者を決定する。

① プレゼンテーション

開催日時：令和7年8月8日（金）予定 ※詳細は応募申込書の提出者に後日連絡する。

場 所：仙台市役所経済局第一会議室（仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル9階）

② 内容・方法

応募者より企画提案内容の説明を受け、その後審査委員との質疑応答を行う。内容説明の時間は15分以内、質疑応答時間は10分以内とし、企画提案書の内容に基づく説明を行うこと。

※出席者は、1者あたり2名までとする。

※審査委員は、下記の（２）審査基準に沿って企画提案内容の評価を行い採点する。各委員の採点に基づく合計点を合算した総合点数が最も高い応募者を受託候補者として特定する。

③ 審査内容

評価については５段階評価（５：最高評価、１：最低評価）とし、審査項目ごとに一定の倍率を掛ける傾斜配点を採用する。各評価項目において、要件を満たさない場合は０点とし、１項目でも０点を取得した場合は不採択とする。

総合点数が同じ事業者が複数いる場合には、各委員の採点において評価票の「評価項目」の以下の項目の合計点が高い事業者を上位とする。

- ・ 第一優先項目 「業務内容の妥当性等」
- ・ 第二優先項目 「実現性」
- ・ 第三優先項目 「趣旨の理解」

（２）審査基準

審査項目と配点	審査の視点
趣旨の理解【15点】	
企画提案の全体（15点）	・ 表層的な配慮にとどまらず、経営戦略としてのダイバーシティ経営を志向しているか。 ・ 事業の背景・課題及び目的を的確に理解しているか。
実現性【30点】	
スケジュール・実施体制（10点）	・ 円滑かつ実行可能なスケジュールとなっているか。 ・ 業務遂行に必要な人材・人員体制が整っているか。
費用の妥当性（10点）	・ 必要経費の積算根拠（単価・数量・内容）が示されており、妥当性があるか。
関連実績・ノウハウ（10点）	・ 本業務の遂行に資する類似・関連業務の実績やノウハウを有しているか。
業務内容の妥当性等【55点】	
目的・課題との整合性（15点）	・ 提案内容が、事業の背景・課題及び目的に対する適切なアプローチとなっているか。 ・ 取組により期待される効果が明確に示されているか。
企画の具体性・効果・創意工夫（各10点×3）	
仕様書3（1）①「意識醸成・普及啓発に資する企画の実施」について（10点）	・ 実施内容・実施時期・回数・対象者等の企画内容に関して具体的かつ効果的な提案ができているか。 ・ 企画提案に創意工夫が見られるか。
仕様書3（1）②「域外ロールモデル企業の取材記事作成」について（10点）	・ 企業選定にあたっては、市内企業にとってのロールモデル性を有する提案となっているか。
仕様書3（2）「ダイバーシティ経営の実践に向けた取組」について（10点）	・ 実施内容・実施時期・回数・対象者等の企画内容に関して具体的かつ効果的な提案ができているか。 ・ 企画提案に創意工夫が見られるか。

効果検証の妥当性（10点）	・短期的効果の達成状況についての検証手法に妥当性があるか。 ・中長期的に得られる効果についての検証手法に妥当性があるか。
---------------	---

（3）審査結果

採択・不採択の結果については、メール等で通知し、問い合わせには対応しない。

（4）採択者数

1 者

1 1 提案が無効となる場合

次のいずれかに該当する提案は、無効とする。

- ・ 応募資格要件を満たさない場合または委託契約締結までの間に応募資格要件を満たさなくなった場合
- ・ 提出書類に虚偽または不正な記載があった場合
- ・ 選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行った場合
- ・ 上記3に示す予算規模上限額を超える提案を行った場合
- ・ その他、募集要領に定める条件に違反した場合

1 2 担当課

仙台市経済局産業政策部中小企業支援課成長支援係

住所：〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル9階

電子メール：kei008040@city.sendai.jp

電話：022-214-7338 FAX：022-214-8321